

# 勉強法診断テスト

受験成功のために正直に回答してください。

自分の受験科目をどのように勉強したらよいか学びましょう。

勉強法が分からない科目がある

同意する        同意しない

## 科目タイプ

数学



MATH

数学が嫌いな人も得意な人もこの記事を見てくれ！

英語



ENGL

日々の努力を受験の日まで続けられるやつが勝つ！

物理



PHYS

物理が苦手なそのあなたに合格の公式を教えます！

化学



CHEM

化学は直前の詰め込みだけじゃなんとかならない！

# 数学

## MATH型の勉強法

数学は根気強く、めげずに取り組んでいこう。



## I 大問と解き方

明治大学理工学部 of 数学は大問3題から構成されている！  
基本的に大問1は小問集合、大問2・3は記述の誘導型の問題となっています。

**パターン1** 数学で平均程度の点数を狙う or それ以外の方 (70%未満の点数で妥協する方)

まず大問1で確実に得点しましょう！(目安3/4)

そのあと大問2.3の(1)を確実に解きましょう。

**パターン2** 稼ぐ方 (数学で70%以上の点数を目指す方へ)

まず大問2、大問3の解けそうなところを解きましょう！そのあと、余った時間で大問1を解きます。

## I パターン別の勉強法

**パターン1**

教科書レベルの基本的な問題や公式の扱い方を学びましょう！  
参考証ルートの一例

入門問題精巧(数学1.2)→基礎問題精巧(数学1.2)→入門問題精巧(数学3.C)→基礎問題精巧(数学3.C)

できればこれを受験期の9月末までに完成させましょう！

\*完成の目安はその問題を見て10秒以内に解法が浮かぶことをいいます。

そこから過去問を進めていきましょう。

**パターン2**

パターン1の基礎問題精巧数学3までを5月末までに完成させましょう。

その後、6月初めから「1対1対応の演習」を始めましょう。

# 英語

## ENGL型の勉強法

英語は毎日の小さな積み重ねが肝心の科目です。



## 学プロ受験対策（英語）

明治大学理工学部的一般入試の英語は、他大学と比較しても珍しい超長文1題で構成されています。試験時間も60分と短めなのでかなりの集中力をもって読解していくことが求められます。

しかし、各問題は文章の内容の順番通りに並んでいるため、一気に読み進める必要はありません。問題と文章を丁寧に照らし合わせながら1問ずつ着実に解いていけば、合格点に近づけるでしょう。

共通テストに関しても同じことが言えますが、分からない問題は後回しにするなど、英語の入試は焦らないことが大切です。

## 勉強法

英語の長文を解くうえで、単語力は欠かせません。長文の演習は後回しでも大丈夫です。高校3年生の7月くらいまでを目安に、英単語帳を1冊完璧にできるとよいでしょう。

高校3年生の夏からは、少しずつ長文や文法問題を取り入れていきましょう。これらの勉強はとにかく復習が大切です。長文は文章の全和訳、分からない単語のピックアップ、頭の中で和訳しながらシャドーイングなどを習慣化すると効果的です。文法問題は、解いた数日後に解けなかった問題を解きなおすといいでしょう。

秋ごろから受験までは、ほんの少しでも毎日英語に触れるようにしましょう。言語は毎日続けないとすぐに忘れてしまいます。

「この日はこの科目だけを集中して勉強する」というのも効率的な受験勉強ですが、英語だけは、中くらいの文量の文章を1つ読むなど、毎日取り組むことをお勧めします。

# 物理

## PHYS型の勉強法

公式の丸覚えはやめましょう！！



## 学プロ受験対策（物理）

明治大学理工学部 of 物理の大問は3問

- ・最初に物理と化学を何题ずつ解くか決めておく  
＞練習でやってないことを本番ですると失敗しやすい、  
解く流れのシミュレーションを何度もやっておく。
- ・大問中の小問は全てつながっているので、  
最初を間違えるとすべて不正解になることもあります。  
なので、最初の方の問題は慎重に解きましょう！

## 勉強法

教科書→基礎問題→典型問題→過去問（3年以上）

- ・参考書は何周したかではなく、何割解けるかを意識しよう！  
明治大学理工学部の合格は典型問題の参考書を7割以上解けるかどうかが目安。
- ・成績が伸びづらいのは、基礎が身につけていないからかも！？  
教科書を読み、物理の公式の本質から理解すると、  
難しい問題にも対応しやすいです。  
＞特に電磁気は回路の仕組みや電荷の性質を理解すると、  
成績が伸びやすいです。

公式の丸覚えはやめましょう！！

オススメの参考書

基礎系・物理のエッセンス、リードα、漆原シリーズ

典型系・良問の風、重問（数研）

# 化学

## CHEM型の勉強法

優しい顔して量は鬼畜です。  
ご利用は計画的に、、、



## 学プロ受験対策（化学）

最初に物理と化学で何問ずつ解くかを決めておくこと。大問は「理論化学&無機化学or有機化学」の形式で3題。理論化学がしっかり解けることが前提となるため、練習を重ねて得点源とできるようにしておく。問題は標準レベルのものが多く計算量があるので計算ミスがないようにしよう。無機化学・有機化学は広く浅く出題されるイメージ。分野ごと捨てることがないようにしっかりカバーしよう。

## 勉強法

理論化学は模試や過去問で回数をこなそう！

理論化学は、出題される分野である程度形式が決まっているため、模試や過去問を解き直したりして問題に慣れていくことが大切です。

有機化学・無機化学はとにかく暗記したもの勝ち！

化学は受験当日まで暗記期間と言われているので参考書や資料集をどんどん積極的に使って効率良く覚えておこう。中でも資料集は情報の宝庫！カラー写真や図が簡単にまとまっている為、分かりやすく覚えられます。試験に出てくる99%網羅していると言っても過言でない、暇さえあればチェックしよう！

化学は暗記量が膨大になるので、実際の模試や過去問からどの程度のところまで暗記すればいいか、方針を立てるのも大切です。

受験当日までに仕上げる、というイメージが付き纏うので先延ばしにしてしまうかもしれないが、早く取り組んだだけ実力がつく分野でもあるため、日々の問題演習をしっかりとこなそう！